

初めての
臨地実習

基礎看護学実習 I

～1年生～

4月に入学して、看護の基礎となる知識を学習中の1年生です。9月に初めての实習がありました。

1日目は、学内で様々なシチュエーションを想定してのロールプレイと振り返りを行いました。
色々な立場から、幅広い視点での振り返りを行い、多くの気づきを得る機会となりました。



学内での学びを糧に、3日間の病棟実習に出向き、
実際の患者さんに初めて接する機会となりました。
また、忙しい看護師さんともコンタクトを取る必要があり、
幅広い「コミュニケーション」について体験し、考えました。



それを踏まえて・・・

日々積み重ねた学びの一つずつを大切に振り返り、グループでのラベルワークを行いました。

実習最終日



実習の最後は、グループでまとめた作品を、クラスで共有しました。
「看護におけるコミュニケーションとは」というテーマで、それぞれの表現でまとめ上げました。
病棟の指導者さんにも聞いていただき、アドバイスをもらい、学びを深めました。



花や太陽、ちょうちょなどで信頼関係や情報収集・共有について表現しました。コミュニケーションは患者理解のために重要であるとまとめました。

たくさんの矢印で気づきの関係性を表現しました。コミュニケーションは、他職種との連携や、患者を尊重することにも関係し、思いを汲み取るためのアプローチだとまとめました。



ゴールに向かい進んでいく様



学びを「すごろく」に見立てて、ゴールに向かい進んでいく様子を表現しています。非言語的なコミュニケーションの重要性や患者への探求心の大切さも表現しています。

学びをパズルで表現しました。コミュニケーションは、より良いケアにするためのプロセスであるとまとめ、信頼関係や共感することの大切さも学びました。



種・水・鳥、虫、太陽・植物の芽などの関係性で実習の学びを表現しました。信頼関係は大切だけれど、友達との関係性とは違いがあることに気づき、表現しています。

花・ちょうちょ・虫・星の関係性で学びを表現しました。コミュニケーションのあり方一つで、対象への安心感につながると気づき、適切な距離感が大切であるとまとめています。

